



小売物価統計調査(構造編) 2018年(平成30年)結果・山梨県

目次

1 小売物価統計調査(構造編)の概要	ページ
(1)調査の目的と沿革	1
(2)各調査の概要	1
(3)調査価格	1
2 消費者物価地域差指数	
(1)都道府県別の物価水準	2
(2)10大費目別の物価水準	4
(3)2013年結果との比較	5
(4)地方別の物価水準	6
(5)都市別の物価水準	7
3 店舗形態の違いによる価格差	
(1)スーパーと一般小売店の比較	8
(2)スーパーと量販専門店の比較	10

山梨県 県民生活部 統計調査課

<問い合わせ先>
生活教育担当
電話 :055-223-1345
FAX :055-223-1347
E-Mail:toukei@pref.yamanashi.lg.jp
HP: http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/

1 小売物価統計調査(構造編)の概要

(1)調査の目的と沿革

物価構造については、2007年(平成19年)まで5年ごとに実施されてきた全国物価統計調査により把握してきたが、消費・流通構造の変化が加速する中で、5年周期の統計では物価構造の変化を的確に把握することが困難な状況となってきたことから、全国物価統計調査で把握してきた地域別価格差、店舗形態別価格及び銘柄別価格を毎年把握するための調査を「構造編」として、小売物価統計調査に盛り込み、従前の小売物価統計調査を「動向編」と位置付け、全国物価統計調査を中止することとした。

小売物価統計調査(構造編)は、地域別、店舗の形態別等の物価を明らかにすることを目的とし、地域別価格差調査、店舗形態別価格調査及び銘柄別価格調査の3つの調査の種別を設け、2013年(平成25年)1月から実施している。

(2)各調査の概要

	1 地域別価格差調査	2 店舗形態別価格調査	3 銘柄別価格調査
目的	主として都道府県別消費者物価地域差指数を作成	店舗形態別価格表の作成	構造編で独自に指定した銘柄の価格表の作成
調査地域	動向編調査地域(167市町村)以外の88市※	道府県庁所在市46市(東京都区部除く)	東京都区部
調査月	奇数月	偶数月	偶数月
調査品目	56品目(58銘柄) 店舗や地域により価格差が見られるもの、ウエイトの大きいもの等の条件を満たす品目を選定	9品目(9銘柄) スーパー以外でも価格を取集でき、店舗形態別の価格差が見込める代表的な品目を選定	9品目(9銘柄) 今後、動向編の調査銘柄となりそうな銘柄や、まとめ売りなどの販売形態の異なる銘柄が存在する品目から選定

※<http://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/kchosasi.pdf>に掲載

(3)調査価格

調査店舗で消費者に販売している通常価格を調査することとしている。各品目の代表的な価格を調査するという観点から、短期間の特売価格や棚ざらい、在庫一掃セール等の特売価格は調査しない。

2 消費者物価地域差指数

消費者物価地域差指数…

地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したもの。全国平均を基準 (=100) とした指数を、地域別 (地方10区分、都道府県、都道府県庁所在市及び政令指定都市) に作成している。

※消費者物価地域差指数における「総合」及び「住居」は「持家の帰属家賃」を含まない。

(1) 都道府県別の物価水準

- 本県 (98.7) の2018年平均物価水準は第24位、最も高いのは東京都 (104.4)
- 東京都に比べて5.8%※低く、最も低い宮崎県に比べて2.8%高い

2018年平均消費者物価地域差指数 (全国平均=100) の「総合」を都道府県別にみると、東京都 (104.4) が最も高く、次いで神奈川県 (104.3)、埼玉県 (101.1) となっており、全国平均 (=100) 以上の都道府県は8都府県となっている。

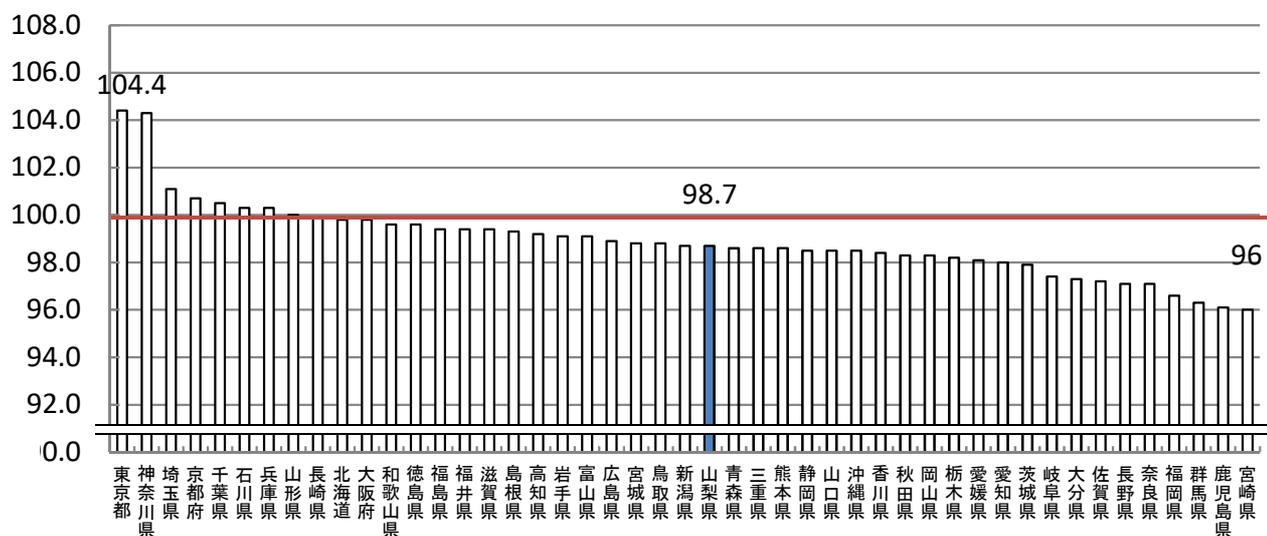
一方、最も低いのは宮崎県 (96.0) で、次いで鹿児島県 (96.1) となっている。(図1-1)

$$\text{※} \frac{\text{高い指数} - \text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$$

小数第2位四捨五入

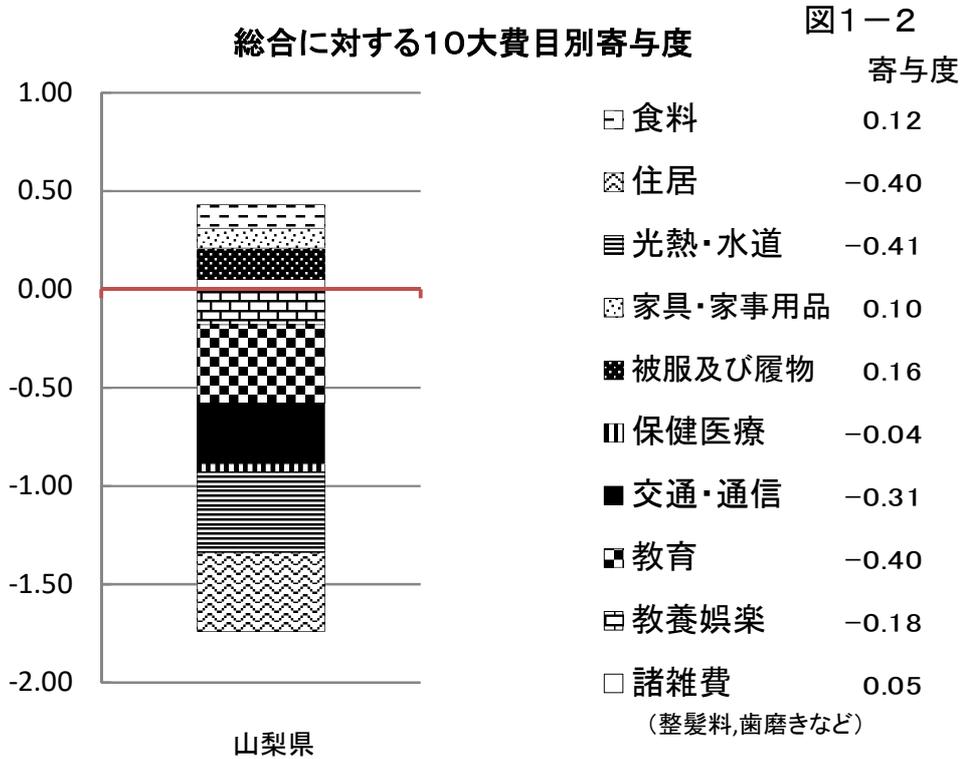
都道府県別消費者物価地域差指数 (総合)

図1-1



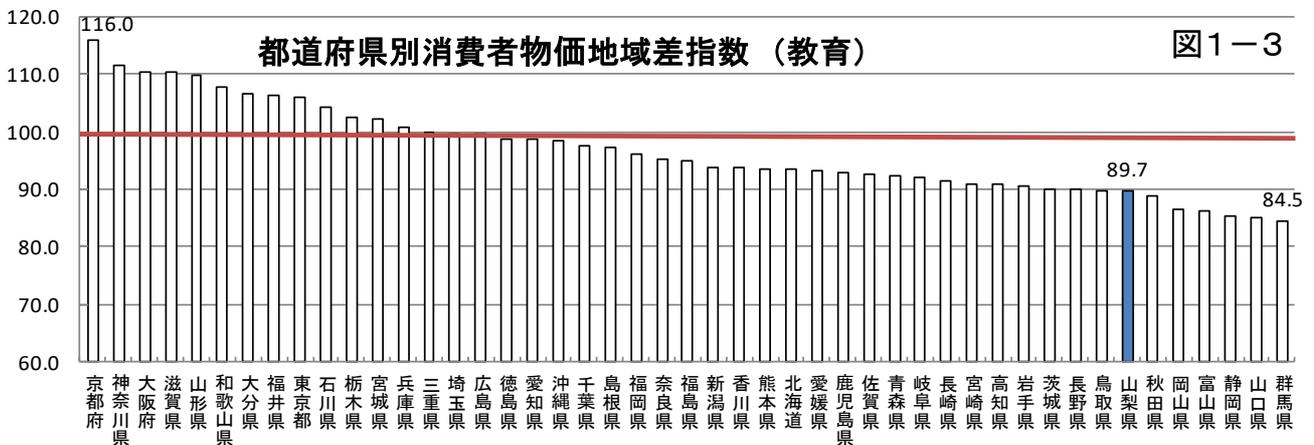
○本県の総合指数に対する10大費目別寄与度

本県の「総合」が全国平均より低い要因を10大費目別寄与度*でみると、「光熱・水道」が最も寄与しており、次いで、「住居」(-0.40)と「教育」(-0.40)となる。(図1-2)
また、本県「教育」の地域差指数は89.7で第40位となっている。(図1-3)



※寄与度

物価水準全体(「総合」)に対して、各内訳項目がどれだけ影響したかを示したものの。
この資料においては、ラスパイレス類似算式の指数の寄与度とパーシェ類似算式の指数の寄与度の平均値を近似的な値として用いているので、各内訳項目の寄与度を足し上げても、「総合」の寄与度(「総合」-100)には必ずしも一致しない。



(2)10大費目別の物価水準

- ・「住居」は、東京都が本県の1.41倍で、物価水準の差が最大
- ・「諸雑費」は、香川県が本県の1.02倍で、物価水準の差が最小

10大費目別に、物価水準が最も高い都道府県と本県との比率※をみると、「住居」に次いで「教育」(1.29)、「光熱・水道」(1.20)などで比率が高くなっている。

一方、比率が低いのは、「諸雑費」に次いで「食料」(1.03)、「家具・家事用品」、「保健医療」となっている。

比率について、小売物価統計調査(構造編)の開始年である2013年の結果と比較すると、「総合」は0.01ポイント縮小している。10大費目別にみると、「光熱・水道」(0.06ポイント)、「交通・通信」(0.05ポイント)、「被服及び履物」(0.03ポイント)などで拡大している。一方、「家具・家事用品」(-0.05ポイント)、「諸雑費」(-0.03ポイント)などは縮小している。

最も高い都道府県と山梨県の10大費目別指数による比較(表1-1)

全国平均=100

10大費目	最も高い都道府県		山梨県	比率※ (2018年)	比率※ (2013年)	比率の差
総合	東京都	104.4	98.7	1.06	1.07	-0.01
食料	石川県, 福井県	103.4	100.4	1.03	1.04	-0.01
住居	東京都	133.0	94.0	1.41	1.42	-0.01
光熱・水道	北海道	114.9	95.5	1.20	1.14	0.06
家具・家事用品	宮城県	105.2	102.5	1.03	1.08	-0.05
被服及び履物	栃木県	117.4	103.5	1.13	1.10	0.03
保健医療	富山県	102.2	99.2	1.03	1.03	0.00
交通・通信	東京都	104.7	98.2	1.07	1.02	0.05
教育	京都府	116.0	89.7	1.29	1.27	0.02
教養娯楽	神奈川県	105.5	98.4	1.07	1.08	-0.01
諸雑費	香川県	102.8	100.8	1.02	1.05	-0.03

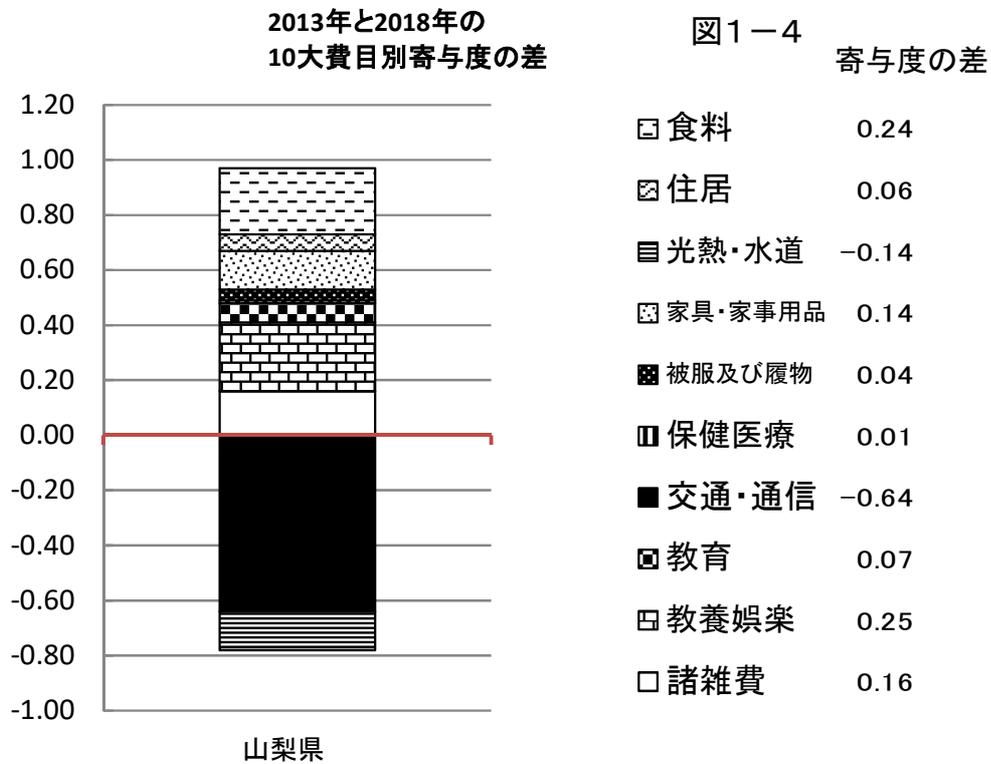
※ 比率 = $\frac{\text{最も高い都道府県の指数}}{\text{山梨県の指数}}$

小数第3位四捨五入

(3) 2013年結果との比較

・2013年と比較すると「総合」の変動に最大の影響を与えた費目は、「交通・通信」

2013年と比較して「総合」の変動に最も影響を与えた費目をみるため、2013年結果と2018年結果の寄与度の差をみると、プラスの影響を与えたものは「教養・娯楽」(0.25) などであり、マイナスの影響を与えたものは「交通・通信」(-0.64) などである。(図1-4)



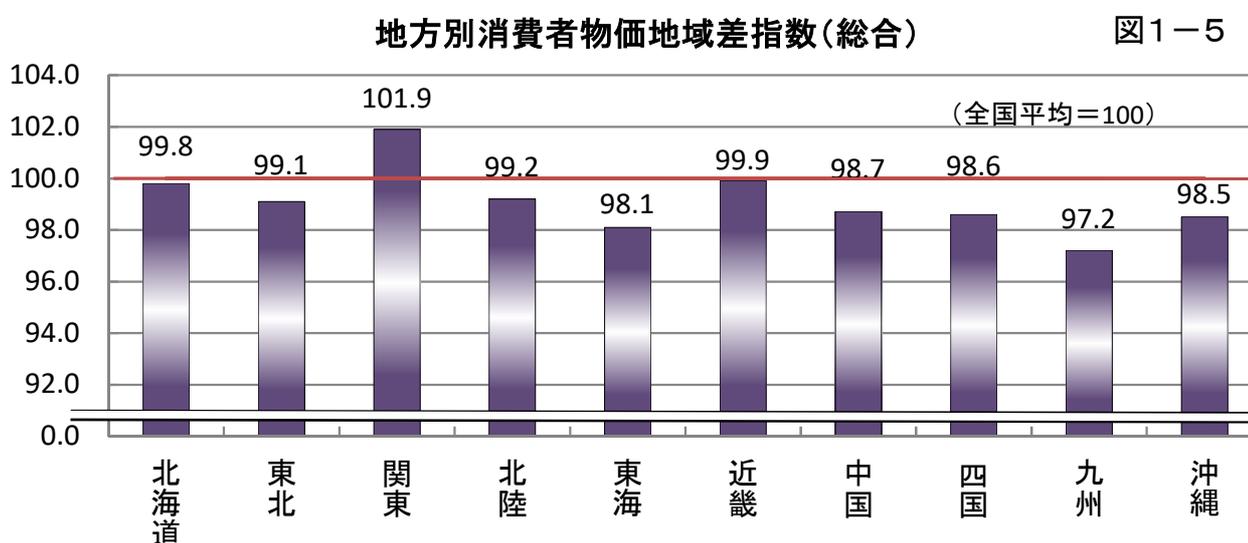
(4) 地方別の物価水準

・物価水準が全国平均（=100）を超えているのは関東地方のみ

地方別に「総合」をみると、本県が含まれている関東地方(101.9)が最も高く、次いで近畿地方(99.9)となっている。

一方、最も低いのは九州地方(97.2)、次いで東海地方(98.1)となっている。

(図1-5)



※ 地方10区分

北海道・・・北海道

東北・・・青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県

関東・・・茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 山梨県, 長野県

北陸・・・新潟県, 富山県, 石川県, 福井県

東海・・・岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県

近畿・・・滋賀県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県

中国・・・鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

四国・・・徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

九州・・・福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県

沖縄・・・沖縄県

(5) 都市別の物価水準

- ・ 甲府市(99.4)は第20位（他2か所同順位）、最も高いのは川崎市(105.4)。
- ・ 甲府市は、川崎市に比べて6.0%低い[※]。

都市別に「総合」をみると、川崎市(105.4)が最も高く、次いで東京都区部(105.1)、横浜市(105.1)、相模原市(103.1)、さいたま市(102.8)となっている。

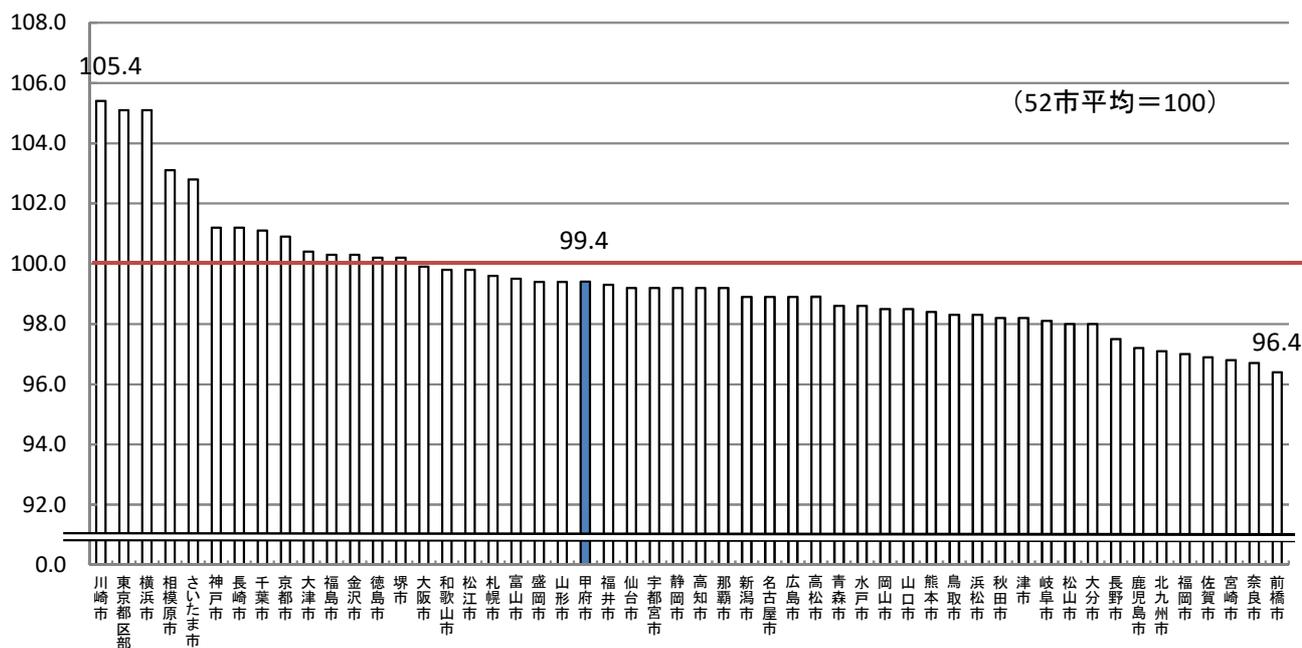
一方、最も低いのは前橋市(96.4)で、次いで奈良市(96.7)、宮崎市(96.8)、佐賀市(96.9)、福岡市(97.0)、北九州市(97.1)となっている。(図1-6)

$$\text{※} \frac{\text{高い指数} - \text{低い指数}}{\text{低い指数}} \times 100$$

小数第2位四捨五入

都市別消費者物価地域差指数(総合)

図1-6



※都市とは、都道府県庁所在市（東京都は東京都区部）及び政令指定都市（川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市）を指す。

3 店舗形態の違いによる価格差（甲府市）

店舗形態の違いによる価格差を明らかにすることにより、店舗の形態が価格に及ぼす影響をみることを目的とし、調査対象9品目について、スーパーと一般小売店又はスーパーと量販専門店の年平均価格をそれぞれ比較する。

※店舗形態

- スーパー：生鮮食品・家事雑貨を中心にセルフサービス方式で販売している店舗
- 一般小売店：米穀店、精肉店、惣菜店、酒飯店など特定分野の商品を販売している店舗
- 量販専門店：医薬品・化粧品を中心に販売するドラッグストアや住関連商品を中心に販売するホームセンターなど

(1)スーパーと一般小売店の比較

- ・コロッケ、清酒はスーパーの価格が低い
- ・うるち米、豚肉は一般小売店の価格が低い

スーパーと一般小売店の価格差を比較することを目的とした調査4品目（うるち米、豚肉、コロッケ及び清酒）の2018年（平成30年）平均価格をみると、コロッケ、清酒は、スーパーの価格が低く、うるち米、豚肉は一般小売店の価格が低くなっている。

（表2-1）

また、スーパーの年平均価格を100として一般小売店の価格水準をみると、清酒（132.4）が最も水準の差が大きい。

2017年結果と比較すると、清酒では価格水準の差が拡大している。拡大した要因は、年平均価格について、清酒は、価格の高い一般小売店が上昇し、価格の低いスーパーが下落したことによる。

一方、豚肉では価格水準の差が縮小している。差が縮小した要因は、年平均価格について、価格の低い一般小売店が上昇し、価格の高いスーパーが下落したことによる。

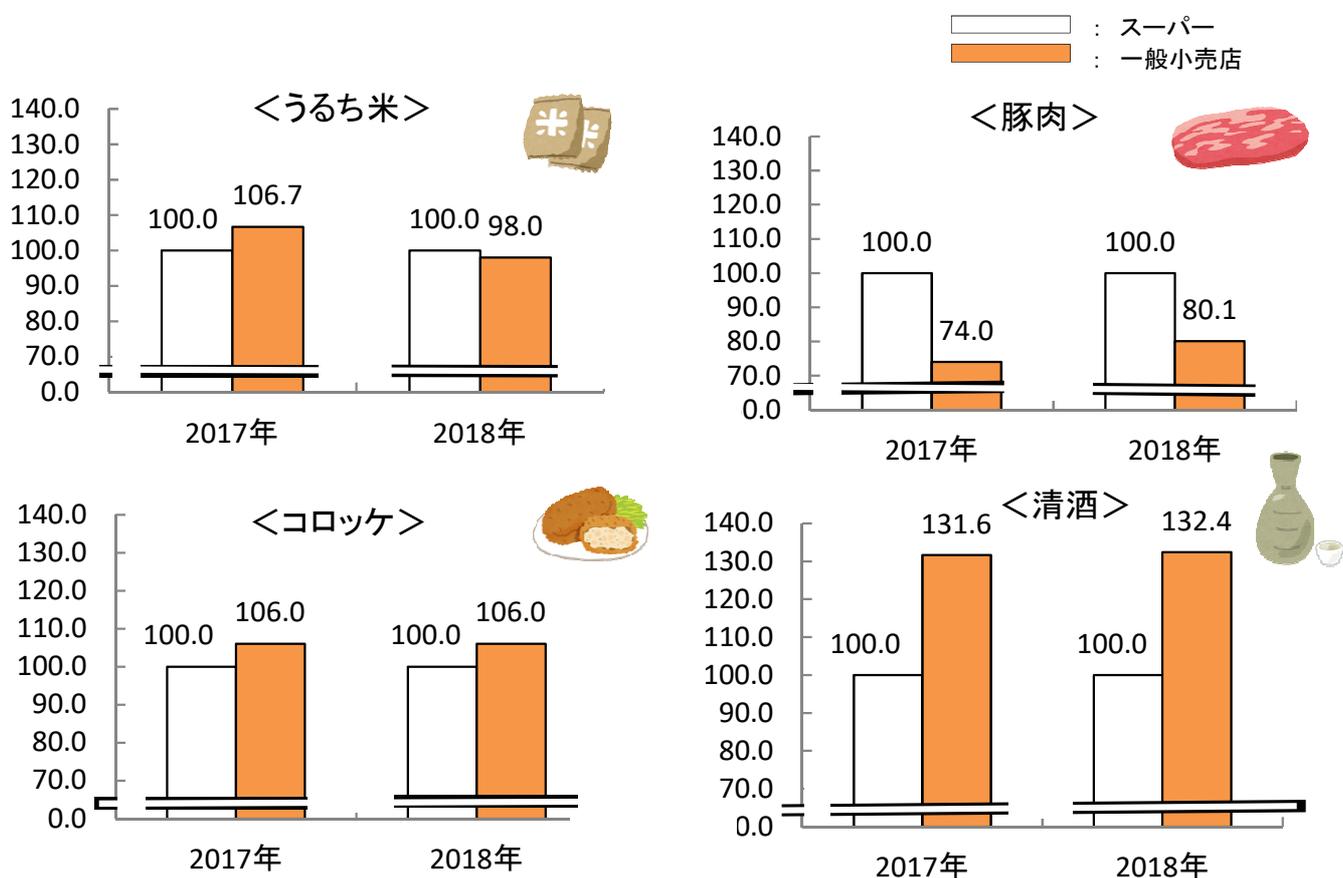
うるち米は、2017年結果においては、スーパーが一般小売店より価格が低かったが、2018年結果においては、スーパーが一般小売店より価格が高くなっている。（表2-1）



表2-1 調査対象4品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

品目(単位)	店舗形態	2018年		2017年		2017年との比較 (2018年-2017年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均価格 の変化 (円)	年平均価格 の変化率 (%)
うるち米 (1袋(5kg))	スーパー	2,164	100.0	2,002	100.0	162	8.1
	一般小売店	2,121	98.0	2,136	106.7	-15	-0.7
豚肉(100g)	スーパー	246	100.0	254	100.0	-8	-3.1
	一般小売店	197	80.1	188	74.0	9	4.8
コロッケ(100g)	スーパー	83	100.0	83	100.0	0	0.0
	一般小売店	88	106.0	88	106.0	0	0.0
清酒 (1本(2,000ml))	スーパー	1,007	100.0	1,012	100.0	-5	-0.5
	一般小売店	1,333	132.4	1,332	131.6	1	0.1

図2-1 調査対象4品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格=100)



(2)スーパーと量販専門店の比較

- ・生理用ナプキンはスーパーの価格が低い
- ・ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、及び整髪料は量販専門店の価格が低い

スーパーと量販専門店の価格差を比較することを目的とした調査5品目（ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、整髪料、生理用ナプキン(注)）の年平均価格をみると、生理用ナプキンを除いて量販専門店の価格が低くなっている。（表2-2）

スーパーの年平均価格を100として量販専門店の価格水準をみると、生理用ナプキン（113.3）が最も水準の差が大きくなっており、次いでドリンク剤（86.9）となっている。

2017年結果と比較すると、洗濯用洗剤、ドリンク剤では価格水準の差が縮小している。差が縮小した要因は、年平均価格について、洗濯用洗剤では、価格が高いスーパーが下落し、価格の低い量販専門店が上昇したことによる。ドリンク剤では、価格が高いスーパーは変化がないが、価格の低い量販専門店が上昇したことによる。

また、ラップでは価格水準の差が拡大している。差が拡大した要因は、年平均価格について、価格が高いスーパーの上昇率が、価格の低い量販専門店の上昇率を上回ったことによる。

(注) 2018年に調査開始した品目

表2-2 調査対象5品目の店舗形態別年平均価格及び価格水準

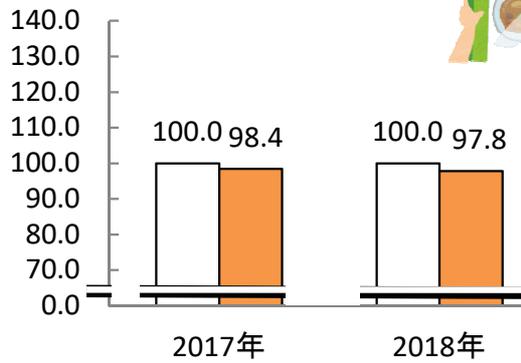
品目(単位)	店舗形態	2018年		2017年		2017年との比較 (2018年-2017年)	
		年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均 価格 (円)	価格 水準 (スーパー 年平均価 格=100)	年平均価格 の変化 (円)	年平均価格 の変化率 (%)
ラップ (1本(幅22cmx 長さ50m))	スーパー	318	100.0	313	100.0	5	1.6
	量販専門店	311	97.8	308	98.4	3	1.0
洗濯用洗剤 (1kg(液体))	スーパー	300	100.0	310	100.0	-10	-3.2
	量販専門店	292	97.3	270	87.1	22	8.1
ドリンク剤 1箱((100mLx10 本))	スーパー	1,099	100.0	1,099	100.0	0	0.0
	量販専門店	955	86.9	924	84.1	31	3.4
整髪料 (1個(80g))	スーパー	777	100.0	772	100.0	5	0.6
	量販専門店	752	96.8	747	96.8	5	0.7
生理用ナプキン (昼用, 10枚)	スーパー	158	100.0	—	—	—	—
	量販専門店	179	113.3	—	—	—	—

「—」: 2018年調査開始品目のため、当該数値がない。

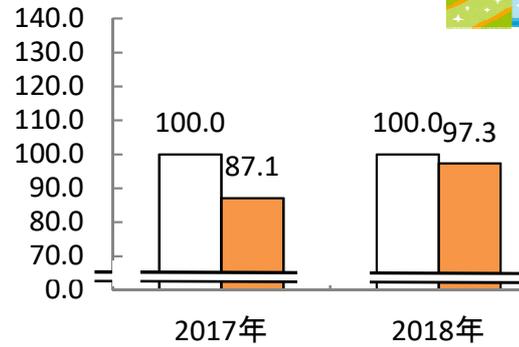
図2-2 調査対象5品目の店舗形態別価格水準(スーパーの年平均価格=100)

□ : スーパー
 ■ : 量販専門店

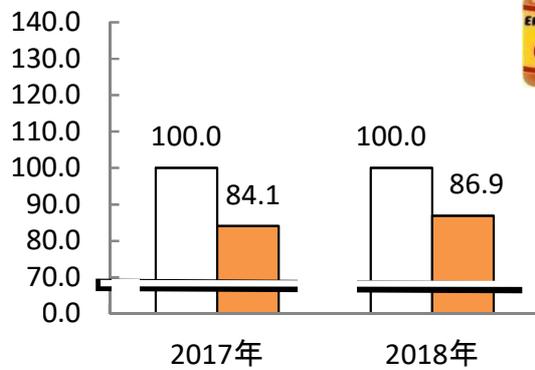
<ラップ>



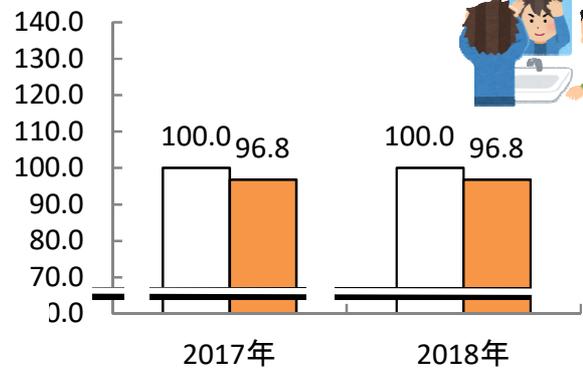
<洗濯用洗剤>



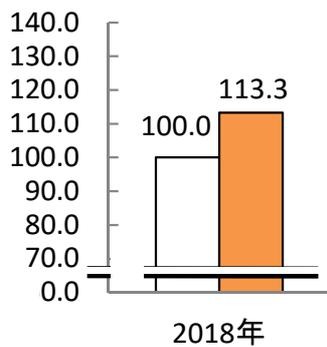
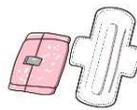
<ドリンク剤>



<整髪料>



<生理用ナプキン>



別表1 10大費目別指数(47都道府県)

全国平均=100

都道府県	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
北海道	99.8	100.0	83.7	114.9	98.4	104.8	100.2	100.3	93.4	97.9	99.9
青森県	98.6	97.4	90.3	108.0	97.5	102.2	99.9	100.4	92.3	96.0	98.2
岩手県	99.1	97.6	90.6	109.5	99.9	99.6	101.6	99.4	90.5	100.9	98.7
宮城県	98.8	97.2	99.6	100.7	105.2	95.3	100.8	97.4	102.1	100.0	99.6
秋田県	98.3	97.6	88.7	107.1	101.0	100.6	99.3	98.1	88.7	98.1	100.2
山形県	100.0	100.8	88.7	110.7	93.4	101.0	96.8	99.6	109.9	98.5	97.7
福島県	99.4	99.6	92.5	108.0	100.6	103.5	99.8	98.3	94.9	95.5	102.3
茨城県	97.9	98.5	97.6	102.1	95.2	99.2	98.2	97.1	90.0	96.0	101.2
栃木県	98.2	98.4	86.8	97.1	99.5	117.4	99.9	97.5	102.5	95.7	99.4
群馬県	96.3	99.1	85.7	91.3	95.8	101.8	100.9	97.5	84.5	95.9	98.6
埼玉県	101.1	100.7	108.9	93.8	101.8	102.3	100.7	100.5	99.7	104.5	100.7
千葉県	100.5	101.2	102.5	101.0	101.8	94.4	100.0	99.1	97.6	102.8	99.4
東京都	104.4	103.1	133.0	94.8	103.9	99.6	101.3	104.7	106.0	103.8	100.2
神奈川県	104.3	102.1	123.6	97.4	101.5	104.1	101.5	103.7	111.6	105.5	102.7
新潟県	98.7	99.8	90.6	99.9	96.0	105.0	99.1	98.4	93.9	99.2	100.6
富山県	99.1	101.4	89.3	103.4	98.6	102.1	102.2	97.8	86.2	96.9	102.4
石川県	100.3	103.4	86.0	104.7	99.9	103.2	101.3	98.2	104.2	97.4	100.7
福井県	99.4	103.4	87.4	95.1	104.0	101.3	101.3	98.7	106.3	94.6	100.7
山梨県	98.7	100.4	94.0	95.5	102.5	103.5	99.2	98.2	89.7	98.4	100.8
長野県	97.1	94.4	88.2	101.1	100.3	101.3	97.9	100.1	90.0	98.3	102.1
岐阜県	97.4	97.9	84.8	93.7	94.3	107.1	99.4	100.2	92.0	97.9	100.6
静岡県	98.5	99.2	97.0	98.1	101.0	98.7	100.0	99.4	85.4	99.4	98.4
愛知県	98.0	98.0	95.1	96.3	96.3	96.3	100.2	97.9	98.8	100.3	99.3
三重県	98.6	101.2	91.6	99.3	97.5	100.5	99.4	98.8	99.9	95.6	96.2
滋賀県	99.4	100.0	89.3	100.7	96.9	100.1	100.2	100.4	110.3	96.5	102.3
京都府	100.7	100.9	92.8	100.4	101.5	97.2	97.5	102.0	116.0	101.0	101.1
大阪府	99.8	99.4	97.7	97.6	99.8	96.3	99.1	100.9	110.5	102.1	97.3
兵庫県	100.3	99.8	98.6	99.1	101.1	104.2	98.1	100.7	100.7	100.5	102.5
奈良県	97.1	96.0	85.8	101.1	97.4	93.5	98.8	100.2	95.3	100.0	99.0
和歌山県	99.6	100.7	94.8	100.9	95.9	102.0	101.6	99.0	107.7	96.0	100.3
鳥取県	98.8	101.6	82.9	106.7	100.4	106.4	99.8	97.3	89.7	94.5	99.7
島根県	99.3	101.3	83.9	111.2	98.7	99.6	98.3	99.3	97.2	96.8	100.1
岡山県	98.3	100.1	87.3	106.6	103.2	101.4	100.5	96.2	86.4	96.4	100.2
広島県	98.9	101.1	88.6	105.6	96.7	96.4	99.7	99.1	99.5	95.3	99.8
山口県	98.5	99.9	88.4	109.0	98.0	105.4	101.6	96.9	84.9	95.1	100.2
徳島県	99.6	100.9	92.2	103.7	101.8	110.6	98.0	96.5	98.8	97.9	100.1
香川県	98.4	98.5	88.2	104.1	101.0	97.5	99.8	100.0	93.9	95.2	102.8
愛媛県	98.1	100.2	82.7	105.4	100.2	99.0	99.4	98.1	93.2	97.7	97.7
高知県	99.2	103.0	89.8	102.2	98.5	99.9	100.7	98.0	90.9	96.7	100.2
福岡県	96.6	95.1	85.4	102.9	98.8	92.6	99.6	99.0	96.0	97.2	101.4
佐賀県	97.2	98.3	83.8	106.8	97.2	103.5	100.2	98.8	92.6	91.8	98.2
長崎県	99.9	98.9	94.2	108.4	104.1	109.5	99.9	99.9	91.4	96.8	100.9
熊本県	98.6	101.2	86.7	100.1	100.1	100.6	101.0	99.7	93.6	95.0	100.7
大分県	97.3	98.7	84.2	102.6	99.9	95.0	96.5	97.8	106.6	95.4	97.3
宮崎県	96.0	96.3	86.7	99.4	102.7	94.1	99.2	97.8	91.0	92.7	97.6
鹿児島県	96.1	99.2	85.3	98.6	96.0	89.9	99.8	98.9	92.8	92.2	93.5
沖縄県	98.5	103.0	85.2	105.6	97.9	99.3	98.4	97.3	98.3	96.8	95.0

別表2 2018年結果と2013年結果の比較(総合)

都道府県	2018年		2013年		順位変動 [2013年－2018年]
	指数	順位	指数	順位	
北海道	99.8	10	99.2	13	3
青森県	98.6	26	98.5	20	-6
岩手県	99.1	19	98.4	23	4
宮城県	98.8	22	98.2	28	6
秋田県	98.3	33	98.0	33	0
山形県	100.0	8	100.6	6	-2
福島県	99.4	14	99.1	15	1
茨城県	97.9	38	98.4	23	-15
栃木県	98.2	35	98.5	20	-15
群馬県	96.3	45	96.9	46	1
埼玉県	101.1	3	101.4	3	0
千葉県	100.5	5	99.4	11	6
東京都	104.4	1	105.2	1	0
神奈川県	104.3	2	103.9	2	0
新潟県	98.7	24	97.9	34	10
富山県	99.1	19	97.5	40	21
石川県	100.3	6	99.4	11	5
福井県	99.4	14	99.6	10	-4
山梨県	98.7	24	98.5	20	-4
長野県	97.1	42	97.2	42	0
岐阜県	97.4	39	97.0	44	5
静岡県	98.5	29	97.9	34	5
愛知県	98.0	37	98.8	19	-18
三重県	98.6	26	98.2	28	2
滋賀県	99.4	14	99.0	16	2
京都府	100.7	4	100.7	5	1
大阪府	99.8	10	100.2	7	-3
兵庫県	100.3	6	100.9	4	-2
奈良県	97.1	42	97.7	38	-4
和歌山県	99.6	12	100.0	8	-4
鳥取県	98.8	22	98.1	30	8
島根県	99.3	17	99.8	9	-8
岡山県	98.3	33	98.9	17	-16
広島県	98.9	21	98.1	30	9
山口県	98.5	29	98.4	23	-6
徳島県	99.6	12	98.4	23	11
香川県	98.4	32	97.9	34	2
愛媛県	98.1	36	97.6	39	3
高知県	99.2	18	99.2	13	-5
福岡県	96.6	44	97.0	44	0
佐賀県	97.2	41	97.1	43	2
長崎県	99.9	9	98.9	17	8
熊本県	98.6	26	98.1	30	4
大分県	97.3	40	97.5	40	0
宮崎県	96.0	47	96.1	47	0
鹿児島県	96.1	46	97.8	37	-9
沖縄県	98.5	29	98.4	23	-6

別表3 2018年結果と2017年結果の比較(総合)

都道府県	2018年		2017年		順位変動 [2017年－2018年]
	指数	順位	指数	順位	
北海道	99.8	10	99.8	14	4
青森県	98.6	26	98.3	32	6
岩手県	99.1	19	98.9	21	2
宮城県	98.8	22	98.7	25	3
秋田県	98.3	33	98.4	29	-4
山形県	100.0	8	101.0	4	-4
福島県	99.4	14	99.9	13	-1
茨城県	97.9	38	97.9	38	0
栃木県	98.2	35	98.4	29	-6
群馬県	96.3	45	96.2	47	2
埼玉県	101.1	3	101.2	3	0
千葉県	100.5	5	100.2	8	3
東京都	104.4	1	104.4	1	0
神奈川県	104.3	2	104.2	2	0
新潟県	98.7	24	98.8	23	-1
富山県	99.1	19	99.0	20	1
石川県	100.3	6	100.4	6	0
福井県	99.4	14	99.3	18	4
山梨県	98.7	24	98.2	36	12
長野県	97.1	42	96.8	41	-1
岐阜県	97.4	39	97.2	39	0
静岡県	98.5	29	98.3	32	3
愛知県	98.0	37	98.0	37	0
三重県	98.6	26	98.6	26	0
滋賀県	99.4	14	100.0	10	-4
京都府	100.7	4	100.7	5	1
大阪府	99.8	10	100.0	10	0
兵庫県	100.3	6	100.3	7	1
奈良県	97.1	42	96.8	41	-1
和歌山県	99.6	12	100.0	10	-2
鳥取県	98.8	22	98.8	23	1
島根県	99.3	17	99.7	15	-2
岡山県	98.3	33	98.4	29	-4
広島県	98.9	21	99.1	19	-2
山口県	98.5	29	98.9	21	-8
徳島県	99.6	12	99.4	17	5
香川県	98.4	32	98.3	32	0
愛媛県	98.1	36	98.5	28	-8
高知県	99.2	18	99.5	16	-2
福岡県	96.6	44	96.8	41	-3
佐賀県	97.2	41	96.7	44	3
長崎県	99.9	9	100.1	9	0
熊本県	98.6	26	98.6	26	0
大分県	97.3	40	97.0	40	0
宮崎県	96.0	47	96.4	45	-2
鹿児島県	96.1	46	96.4	45	-1
沖縄県	98.5	29	98.3	32	3

別表4 2018年平均消費者物価地域差指数
都道府県庁所在市及び政令指定都市別順位

(52市平均=100)

順位	地域	持家の帰属家賃を除く総合
1	川崎市	105.4
2	東京都区部	105.1
2	横浜市	105.1
4	相模原市	103.1
5	さいたま市	102.8
6	神戸市	101.2
6	長崎市	101.2
8	千葉市	101.1
9	京都市	100.9
10	大津市	100.4
11	福島市	100.3
11	金沢市	100.3
13	徳島市	100.2
13	堺市	100.2
15	大阪市	99.9
16	和歌山市	99.8
16	松江市	99.8
18	札幌市	99.6
19	富山市	99.5
20	盛岡市	99.4
20	山形市	99.4
20	甲府市	99.4
23	福井市	99.3
24	仙台市	99.2
24	宇都宮市	99.2
24	静岡市	99.2
24	高知市	99.2
24	那覇市	99.2
29	新潟市	98.9
29	名古屋市	98.9
29	広島市	98.9
29	高松市	98.9
33	青森市	98.6
33	水戸市	98.6
35	岡山市	98.5
35	山口市	98.5
37	熊本市	98.4
38	鳥取市	98.3
38	浜松市	98.3
40	秋田市	98.2
40	津市	98.2
42	岐阜市	98.1
43	松山市	98.0
43	大分市	98.0
45	長野市	97.5
46	鹿児島市	97.2
47	北九州市	97.1
48	福岡市	97.0
49	佐賀市	96.9
50	宮崎市	96.8
51	奈良市	96.7
52	前橋市	96.4

順位	地域	家賃を除く総合
1	横浜市	104.2
2	川崎市	103.7
3	東京都区部	103.0
4	相模原市	102.7
5	さいたま市	101.9
6	徳島市	101.2
7	千葉市	101.1
7	京都市	101.1
9	神戸市	101.0
9	長崎市	101.0
11	大津市	100.9
12	福島市	100.8
13	札幌市	100.7
13	金沢市	100.7
15	和歌山市	100.5
15	堺市	100.5
17	松江市	100.4
17	那覇市	100.4
19	富山市	100.1
19	高知市	100.1
21	山形市	100.0
22	福井市	99.9
22	甲府市	99.9
24	盛岡市	99.8
25	宇都宮市	99.7
26	大阪市	99.6
27	山口市	99.5
28	仙台市	99.4
28	広島市	99.4
28	高松市	99.4
28	熊本市	99.4
32	青森市	99.2
33	水戸市	99.1
33	新潟市	99.1
33	静岡市	99.1
33	岡山市	99.1
33	大分市	99.1
38	名古屋市	99.0
38	鳥取市	99.0
38	松山市	99.0
41	岐阜市	98.9
42	津市	98.8
42	浜松市	98.8
44	秋田市	98.6
45	長野市	98.1
46	佐賀市	97.8
46	北九州市	97.8
48	福岡市	97.7
49	鹿児島市	97.6
50	宮崎市	97.4
51	奈良市	97.0
52	前橋市	96.9

順位	地域	食料
1	那覇市	104.6
2	金沢市	103.4
3	徳島市	103.3
4	高知市	103.2
5	福井市	103.1
6	東京都区部	103.0
6	富山市	103.0
8	福島市	102.9
9	横浜市	102.8
9	相模原市	102.8
11	千葉市	102.2
12	川崎市	102.1
13	松江市	102.0
14	さいたま市	101.4
15	岡山市	101.3
16	大津市	101.2
16	和歌山市	101.2
16	広島市	101.2
19	京都市	101.1
20	熊本市	101.0
21	鳥取市	100.9
22	甲府市	100.8
22	鹿児島市	100.8
24	札幌市	100.7
25	新潟市	100.6
25	津市	100.6
25	神戸市	100.6
25	山口市	100.6
29	大阪市	100.0
29	大分市	100.0
31	山形市	99.9
32	宇都宮市	99.8
32	長崎市	99.8
34	松山市	99.7
35	静岡市	99.6
35	堺市	99.6
37	浜松市	99.2
38	盛岡市	99.1
39	高松市	98.8
40	岐阜市	98.6
41	水戸市	98.5
41	名古屋市	98.5
43	前橋市	98.3
44	秋田市	98.2
44	宮崎市	98.2
46	青森市	97.8
47	仙台市	97.7
47	北九州市	97.7
49	佐賀市	97.4
50	奈良市	95.1
51	福岡市	94.6
52	長野市	94.3